

# 図書館だより

## 目次

生涯につなぐ図書館の力	—田中 功	1
創立者 成瀬仁蔵 生誕150年記念誌の紹介	—成瀬記念館	2
展示 源氏物語千年紀によせて、 国宝「源氏物語絵巻復元図展」	—一文字昭子	3
上代タノ平和文庫 図書の紹介	—田口 令子	4
平成20年度夏期スクーリング開館について	—中澤 恵子	5
新システム「利用状況照会」のご案内	—田代 陽子	6
図書館は進化中！—図書館からのお知らせ		8



『ものがたり少年成瀬仁蔵』展示風景

## 生涯につなぐ図書館の力

田中 功

アメリカの小学校では3年生になると、図書館を利用する宿題が出るようになる。そのため小学生から図書館利用の方法を学ばせ、図書館への興味と知識を広げるためにいろいろな方法がとられている。書店や図書館に「図書館の使い方に関する本」が多く並べられ、読まれているのもその1つである。たとえば小学生低学年向けの絵本『Out and about at the Public Library』では子どもの関心をひきつける楽しい絵とともに次のような文章に出会う。「今日は本の探し方や貸出の方法を教えましょう。その前に図書館には本を読んだり勉強するために来ている人が多いことを忘れないで。だから図書館の中では静かにしてね。」「図書館の本には1冊ずつ図書番号というものがついています。この番号は本の住所みたいなもの。この番号であなたの探している本が、どの本棚にあるかわかるのですよ。」このように絵本をとおして図書館の使い方やマナーをきちんと小学生低学年から身につけさせる。また、大学生向きには『Learning to learn』という本がある。新入生に多く読まれ、指定図書にもなるという。本のタイトル「学ぶために学ぶこと」とは、いかなる学習に向き合う場合にもあらかじめ学んでおく必要のあるものを意味している。たとえば図書館で必要な情報の見つけ方、データベースの検索法、論文作成法、引用文献の書き方などである。この本から大学生はこれから使わなくてはならない重要な場所が図書館であることを確認する。

このように生徒、学生たちは、情熱をもって語りかけてくるこれらの本にうなずきながら、図書館を十分に意識し利用法を身につけ、やがて図書館のヘビーユーザーになっていくのである。日本の大学生のアンケートによると「あなたは大学図書館を平均してどの程度利用しますか」という質問に対して、多くの大学では「ほとんど利用しない」、「月に1回程度」をあわせると20%、つまり5人に1人はほとんど使わないという驚くべき数字に出会う。その理由のなかに「利用の仕方がよくわからない」「本を探せない」といったものも多く見受けられる。

一度図書館の使い方を正確に身につければ、その人は生涯どの図書館でも難なく使いこなせるといわれている。それは一生の間に出会う、どのような図書館でも、分類の仕方や蔵書検索の方法をはじめ図書館のシステムがほとんど共通しているからである。余談ではあるが図書館学を英語で Library Science という。科学つまり Science がついているのは、図書館システムのこのような普遍性によるものでもある。学生時代に図書館の利用法を修得することによって、その成果は卒業後ビジネスの世界などで情報を求める場面に遭遇してもすぐに対処できること、さらに情報を賢く駆使できる自立した生涯学習者の道が約束されることにある。あなどることのできない「図書館の力」そして「インフォメーション・パワー」である。

(図書館長・日本文学科教授)

## 創業者 成瀬仁蔵 生誕150年記念誌の紹介



- 『日本女子高等教育の父 成瀬仁蔵  
あなたは天職を見つけたか』
- 『写真で見る 成瀬仁蔵その生涯』
- 『日本女子大学成瀬記念講堂  
—創業者の夢と明治の洋風建築—』

成瀬記念館

今年2008年は、日本女子大学創業者成瀬仁蔵の生誕150年にあたる。

成瀬記念館では、これを成瀬の思想や教育理想を世に広く伝える絶好の機会と捉え、2年前から記念出版の準備を進めてきた。

成瀬の知名度を高める為に、彼の成し遂げた仕事や人となりを象徴的に際立たせることでよしとするのであれば、映画化や漫画化に優るものはないように思われる。しかし、本格的な成瀬研究がまだその途上にある現状では、一足とびのイメージ造りは危険であり、結局、可能な限りヴィジュアルで分かり易いものをと願いながらも、従来通りの出版物の形式で成瀬研究の成果を編集することになった。

記念誌は3冊で、いずれも読み易さを第一のねらいとして企画したものである。表紙の美しさは、先ず本を手にとってもらえるかどうか大きく関わるため、相当のこだわりをもってアイデアを出したが、出版社やデザイナーに恵まれ、予想以上の出来栄になった。また、表紙を見るだけで本文の趣旨が理解されるように、書名の決定にも検討を重ねた。

『あなたは天職を見つけたか』(A5判変形 140頁)は、二転三転した後ようやく決まった表題である。しかし、これこそ本誌の中で、期せずして多くの筆者が記すことになった、成瀬校長からの問いかけそのものである。表紙の「天職」の文字は成瀬の自筆の書を使用した。

本書は30人の筆者による小論と12のコラムによって、本学の創業者を幅広い読者に紹介しようとする「成瀬仁蔵ハンドブック」である。数頁のグラビアに続く小論とコラムは、4つの章「成瀬仁蔵を動かせしもの」「成瀬仁蔵の創りしもの」「成瀬仁蔵を受け継ぎしもの」「成瀬仁蔵をめぐるしこと」に分け、成瀬の全てに関わる諸々をほぼ時系列に並べて紹介している。30の小論は各々2～5頁にまとめられた短いものであり、更に小見出しも多めにつけてあるので、それらを見るだけで論旨が大体分かるようになっていて、また、大部分の頁に写真を入れてあることから、文字が目にと迫ってくる感じも少なく、読み易い本になっていると思う。成瀬の略年譜、および主要著作・参考図書一覧も巻末に付けてある。この本は本学園の幼稚園から大学院生まで、2008年度の全在籍者と、教職員の希望者に記念に配付された。

『写真で見る 成瀬仁蔵その生涯』(B5判 20頁)は、成瀬仁蔵生誕150年記念展示の展示パネル17枚を印刷物に仕立てたもので、大きめの写真がたっぷり入ったパンフレットである。宗教家・教育者・社会活動家として奮闘した60年の生涯を分かり易く紹介したもので、創業者の全体像を瞬時に理解するのに役立つものとなっている。目白・西生田の両展示室に置いてある(非売品)。

『日本女子大学成瀬記念講堂』(A5判 80頁)は、その歴史と建築的構造を詳解した「講堂ガイドブック」である。写真や沢山の図面をカラー刷りで掲載している。後藤 久名誉教授著。

(『天職』と『講堂』を購入ご希望の方は、成瀬記念館又は桜楓会実業部へお問い合わせください。)



—図書館玄関ホール展示—

## 源氏物語千年紀によせて、国宝「源氏物語絵巻復元図展」

一文字 昭子

今年2008年は、源氏物語に関して記述された最古の記録からちょうど千年目にあたります。そのため、全国でさまざまな記念の催しが開催されています。この機会に、普段は、『源氏物語』にまったく縁のない方々にも、その魅力に触れていただき、世界に誇るこの日本の古典文学に興味をお持ちいただきたく、展示を企画・開催いたしました。

『源氏物語』は西暦一千年頃の成立、国宝「源氏物語絵巻」はそれからほぼ一世紀ほど後に製作されたと考えられています。現存の国宝「源氏物語絵巻」は、もともと尾張徳川家と阿波蜂須賀家に伝来し、今は徳川美術館および五島美術館に収められています。原図は剥落や変色が甚だしく、一見しただけでは、製作当初の姿を想像するのは非常に困難な状態です。この絵巻の復元は江戸時代から何度か行われていますが、1998年より、現代科学の技術の粋を尽くして、製作当初の復元図の製作が行われてきました。その様子はNHKハイビジョンで何度か放送されましたので、ご覧になられた方々も多いと思います。2005年にその絵の部分の復元が完成。よみがえった絵巻の鮮やかさに驚くとともに、復元作業の過程で多くの発見があったことは、実に興味深いことでした。

さて、『源氏物語』には、当時の物語享受の方法として、女房が文を読み、お姫様は絵を見ながら聞いているという方法があったことが書かれています。幸い、今回の展示の絵巻にもそうした場面が残っています（東屋1図）。それにならって、今回の展示で『源氏物語』の鮮やかな絵をご覧いただくことで、『源氏物語』の魅力の一端に触れていただきたく存じます。



(東屋1図)

また、昭和38年には、当時の現状をできるだけ忠実に復元するという試みも行われ、全巻の原寸・原色の複製が作成されました。その状態と鮮やかな復元とを比較してみてください。この複製巻物製作当時からすでに40余年を経、しかも公開の回数が増えた原本の状態は、一層剥落等が進んだといわれています。国宝をより多くの人に親んでもらうことと、文化財の保護という兼ね合いの難しさを実感するところです。

今回の展示は、この2点が中心ですが、より深く絵巻について知りたい方のために、参考となる図書、本学卒業生が製作した源氏関連の本、千年紀のイベント等が掲載された雑誌、そしてこの夏に初めて公開された「幻の絵巻」といわれる江戸時代初期成立の源氏物語の絵巻のうち、新発見である桐壺場面の新聞記事、仏語訳の華麗な源氏物語の本、本学所蔵の源氏物語の絵の写本などを紹介いたしました。



展示期間：2008年10月6日(月)～2008年12月2日(火) 場所：図書館(目白)玄関ホール

企画：後藤祥子

製作：鄭銀志、恵比呂美、佐藤千恵、田辺玲子、森田直美、曾和由記子、一文字昭子

(大学院35回文学研究科日本文学専攻卒業生)



## 上代タノ平和文庫 図書を紹介

本学の第6代学長上代タノ先生は、「女性が、国際平和の問題についての意識を明確に持ち、平和への推進力となることを念願」して、1971年にご自身の寄贈図書による「上代タノ平和文庫」を創設された。そのご遺志は、本学図書館友の会に受け継がれ、図書の収集が継続してなされている。「上代タノ平和文庫」は目白の図書館5階にある。最近「上代タノ平和文庫」に受け入れられた図書の中から、次の図書を紹介する。



平和文庫書架

『日本と国連の50年：オーラルヒストリー』（明石康ほか編著 ミネルヴァ書房 2008年発行）

オーラルヒストリーとは、「口頭による歴史記述、インタビューによる資料収集」を意味する。日本は、1933年に国際連盟から脱退。脱退から23年後の1956年12月18日国連（国際連合）に加盟、重光葵外相が国連で演説を行った。その記念すべき50周年にあたり、本書が刊行された。『回想・日本と国連の三十年 歴代国連大使が語る「現代史の中の日本」』（国連広報センター編 講談社 1986年発行 \*所蔵：上代タノ平和文庫 \*請求記号：319.1-Kai）の姉妹版にあたる。

「第I部 国連におけるリーダーシップ」では、国連の平和維持、難民保護、軍縮、事務局行政などの責任者を務めた人々のテーマ別の体験談である。第一章 明石康（日本人初の国連事務局職員、国連事務次長、ミスター国連とよばれた）、第二章 緒方貞子（第八代国連難民高等弁務官、その後国際協力機構理事長）、第三章 遠藤哲也（国際原子力機関理事会議長、原子力委員会委員長代理）、第四章 松浦晃一郎（第八代ユネスコ事務局長、2005年には第二期目に再選）、第五章 高須幸雄（国連改革担当大使など、2007年8月から国連日本政府代表部特命全権大使）。各章ともまず星野俊也ほかによる解説があり、各氏の体験談（講演）に続き、各氏と数名の識者（マスコミ関係者や国連研究者）との質疑応答の構成になっている。

「第II部 日本の国連外交」では、過去20年間において国連大使を務められた方々の体験談（講演）を中心としている。第六章 黒田瑞夫（1983年2月～1986年5月）、第七章 菊地清明（1986年5月～1988年2月）、第八章 波多野敬雄（1990年3月～1994年4月）、第九章 小和田恆（1994年4月～1998年10月）、第十章 佐藤行雄（1998年10月～2002年8月）、第十一章 原口幸市（2002年8月～2004年12月）、第十二章 大島賢三（2004年12月～2007年8月）。各章とも第I部と同様に、石原直紀ほかによる解説があり、各氏の体験談（講演）の後、質疑応答の構成になっている。1956年12月に日本が国連に加盟して以来50年間、国連で活躍された各氏の労苦が感じられた。

なお本学では、2003年11月14日（金）西生田成瀬講堂で、人間社会学部の学術研究交流事業の一つとして、アフガニスタン教育支援五女子大学コンソーシアム共催による明石康氏の講演会「国際社会は私たちに何を期待するか」が開催されている。

2007年9月で、国連への加盟国は192か国。その中で日本は、アメリカに次ぐ第二の分担金拠出国である。しかし日本の国際社会に対する貢献度は、いまだに低くみなされているという。非常任理事国には、日本は通算九回になっている。常任理事国に入るべきかどうかは、国内で議論がなされている。本書の「おわりに」高須幸雄氏は、『全ての国際問題は国連を通じれば解決出来るという国連万能主義は誤りである。』という。国際紛争が絶えない現代においても、今後国連が果たすべき役割が増していくのは明らかである。本書を読んで、少しでも日本と国連の歴史、国連の多様な組織や機能についての理解を深め、今後日本と国連はどうあるべきかを考える契機になれるとよい。

\*所蔵：上代タノ平和文庫、図書館目白、図書館西生田 \*請求記号：319.9-Nih

（上代タノ平和文庫運営委員 館員・田口令子）

## 平成20年度夏期スクーリング開館について

今年の夏期スクーリング開館は8月4日（月）から8月30日（土）までの4週間で、例年同様に24日間でした。

毎年、通信教育課程の学生が通学して集中授業を受ける夏期スクーリングの期間、目白キャンパスの図書館では日曜を除き毎日開館しています。開館時間は月～金：10:00～19:00、土：10:00～18:00です。また、夏期スクーリング開館の間は、通信教育図書室の資料は通信教育課程の学生に限って貸出しています。

スクーリング受講生には、例年のこととはいえ、猛暑に体調を崩された方、それに加え、今年の数重なる雷雨に大変な思いをされた方もあったのではないかと思います。お疲れ様でした。

昨年度10月下旬からの2階～4階鞆類持ち込み解禁後、初めてのスクーリングであり、カウンターへの確認、質問等はありませんでしたが、入館時の混乱はありませんでした。土曜スクーリング、通年スクーリング等で通常期にも図書館を利用している通信教育課程の学生が増えてきているせいかもしれません。また、昨年度に設置された通信教育課程大学院生の熱心な利用も見られました。

今年の利用状況は左下のとおりです。受講生数自体が減少し、図書館の利用もすべての項目で減少しました。昨年は増加した複写枚数も減少しています。通信教育課程では年々履修方法の選択肢が広がっており、夏期スクーリング以外にも土曜スクーリングや東京及び地方での集中授業、放送大学での受講などでも何単位かを取得できるなど、学び方も学ぶ時期も多様化してきていることは、原因の一つと考えられます。

夏期スクーリング開館の利用状況

年度	20	19	18
開館日数	24	24	24
入館者数	5,537	6,081	6,627
1日平均	231	254	277
最高	409	642	534
最低	132	171	191
受講者数	1,542	1,734	1,753
登録者数	695	711	809
1日平均	29	30	34
貸出冊数	2,355	2,594	2,740
1人当たり	4	4	4
1日平均	99	109	115
最高	209	190	210
最低	50	58	63
貸出日数	24	24	24
複写枚数	20,764	25,336	22,179
1日平均	866	1,056	925
一般学生・教職員 その他の貸出	1,299	1,524	1,500
1日平均	55	64	63



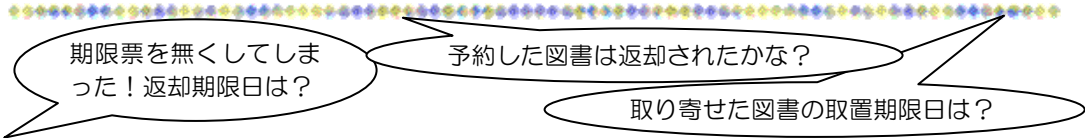
スクーリング時の文献調査・学習風景

一方で、通常期の利用は急増しています。今年と昨年の入館者数を比較すると、4月1675人、5月1060人、6月1878人、7月3409人増です。先にあげた2階～4階鞆類持ち込み解禁をはじめとし、図書館はサービス向上への様々な取り組みを行っています。9月25日（木）より通信教育課程も含めた大学院生貸出冊数は20冊までに増え、また、10月1日（水）より利用状況照会サービスも開始しました。より一層、図書館を利用していただけのをお願い、努力してまいります。

（館員・閲覧係 中澤恵子）

参考係利用状況（質問処理件数）

年度（日数）	20 (17)	19 (15)	18 (15)
一般学生・教職員	35	49	38
スクーリング生・その他	35	41	56
合計	70	90	94
1日平均	4.2	4.5	6.3



## 新システム「利用状況照会」のご案内

あなたはもう、利用していますか？

2008年10月1日（水）より、貸出状況と予約状況が照会できるようになりました。個人情報ですので、照会するには図書館利用カード番号とパスワードが必要です。パスワードは2階カウンターで発行しておりますので、どうぞお申し出ください。目白・西生田、どちらでも発行できます。

### Q1. 「利用状況照会」って何？ A. あなたがあなたの貸出状況と予約状況を確認できるシステムです。

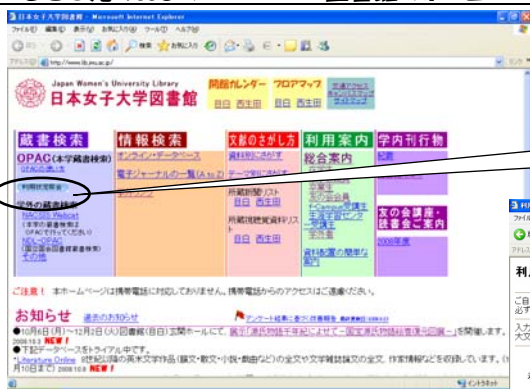
「私は今、何冊借りていますか？」「予約した図書が取置中ですが取置き期限はいつですか？」このような、貸出や予約に関する確認のお尋ねにお応えするシステムが「利用状況照会」です。もしインターネットで図書館ホームページをご覧いただける環境でしたら、どうぞこの「利用状況照会」システムをご活用ください。ご自宅のパソコンからでも確認できます。

従来どおり、カウンターでもお答えしますし、電話でのお問い合わせもお受けしておりますので、お気軽にお尋ねください。

### Q2. 誰が使えるの？ A. 当館利用資格があり、図書館利用カードとパスワードを発行した方です。

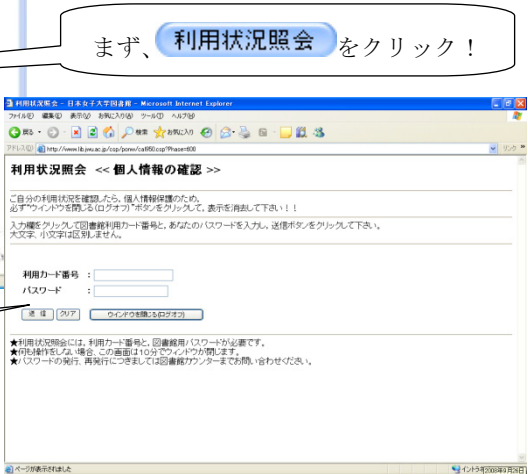
貸出や予約の状況を見るものですので、当館利用資格がある方が使えます。ご覧いただくには、図書館利用カードとパスワードが必要です。

### Q3. どこで見られるの？ A. 図書館のホームページにある「利用状況照会」をクリックしてください。



[<http://www.lib.jwu.ac.jp>]

次に、図書館利用カード番号とパスワードを入力して、送信ボタンをクリック！



借りていた図書、全部返したかな？

延滞罰則はいつまで？

第2巻は予約したけれど、第3巻は予約したかな？

…このようなことを確認できるシステムです



**Q4. 「貸出状況表示」では何がわかるの？ A. 貸出中の図書の冊数やタイトル、返却期限などで。**

貸出した順に、貸出日、返却期限日、請求記号、タイトル、ID番号、所属区分、コメント（予約ありなど）を表示します。

返却期限日を過ぎると、日にちが赤字に変わり、2週間以上過ぎている場合は返却期限日欄に色がついて強調されます。

延滞罰則の期間中は、貸出停止がいつまでか、ページの上部に赤字で表示が出ます。



**Q5. 「予約状況表示」では何がわかるの？ A. 予約した図書の冊数やタイトル、取置期限などで。**

予約した順に、予約日、タイトル、請求記号、ID番号、所属区分、予約順位、コメントを表示します。

コメントは、予約順位1位の際は、貸出者の返却期限日や取置中の取置期限日などが表示されます。

取置期限日を過ぎると自動的に予約が解除されますので、該当のタイトルについての情報は消えます。



**Q6. 「パスワード変更」ではどう変更できるの？ A. 5～8桁の半角英数字で、大文字・小文字は不問です。**

最初に発行したパスワードは5桁の数字ですが、ご自分の覚えやすいように変更できます。

**Q7. 私のパスワードは何？ A. 発行しますので図書館2階カウンターへお申し出ください。**

未発行でしたら、図書館利用カードを持って2階カウンターへお申し出ください。パスワードの発行に時間はかかりません。目白・西生田、どちらでも発行できます。

**Q8. パスワードを忘れたら？ A. 目白か西生田の図書館2階カウンターで再発行となります。**

お調べはできませんが2階カウンターで再発行できます。図書館利用カードをご持参ください。

★皆さまに、大いにご活用いただければと願っております。

(館員・閲覧係 田代陽子)



## 図書館は進化中！ — 図書館からのお知らせ —

大学図書館ではアンケートや意見箱等、いろいろな形で寄せられる利用者の皆さまの声を受けとめ、サービスの向上にむけて検討をしております。具体的な改善報告は、その都度ホームページでお知らせしておりますのでぜひご覧下さい。最近の取り組みの主なものは以下の通りです。

### \* 大学院生の図書貸出冊数上限を20冊としました

「研究に必要な冊数をそろえたい。10冊では少ない」という声のもと、後期授業開始（9月25日）より従来の10冊から20冊へと大幅に増加いたしました。ただし貸出冊数が増えても、図書の返却が延滞した場合のペナルティはもちろん従来通りです。自己管理のもと、図書館の資料を大いに活用してください。

### \* パソコンから利用状況照会ができるようになりました

10月1日から運用を始めました。（詳細は6-7頁参照）

### \* 休暇期間中の開館時間を延長しました

目白は、夏季冬季の閉館時間を17時までから18時までと、1時間延長をしました。西生田は夏季冬季春季、17時20分だった閉館時間を18時までで延長。休暇中もぜひゆっくりとご利用ください。

### \* ロッカー室が変わりました（目白）

「図書館で飲み物を解禁してほしい」

「飲食ができる休憩スペースがあればいいのに」

「飲み物を飲むために一々建物の外に出るのは煩わしい」という声は以前からありました。

軽食を楽しみ、寛ぎながら書物をひもときたい気持ちも理解できるのですが、図書館は長い年月を通して資料を保存し将来的な利用にも備える使命を持っています。汚損や害虫を招く行為はやはり許可できません。



そこで図書館入口のロッカーを一部移動し、飲み物を飲めるスペースを作りました（8月4日利用開始）。新刊図書のカバーをタペストリー風にした展示が好評をいただいています。今後も図書館らしくつつろぎの画となるよう、整備していきたいと考えています。

### \* 図書館入口にリフトを設置しました（目白）

古い図書館の建物をどのようにバリアフリーにしていくか。それは大きな課題です。しかも目白の図書館は入口が階段のみ。スロープをつけることは大変むずかしい状況です。それなら、と図書館の入口にリフトを設置いたしました（7月28日運用開始）。インターフォンを押していただければ、職員が対応いたします。リフトの昇降はとても簡単です。車椅子をお使いの方、階段の上り下りがご不自由な方、ケガをなさっている方、どうぞ遠慮なく申し出てください。



（荷物運搬の方は、直接事務室ないしカウンターに声をおかけください）

編集後記 夏の終わり、後藤学長より源氏物語絵巻展示のお話があった。準備に携わった方々はチームワークよく美しく展示を整えられた。雅な空間が来館者に好評である。前号に続き、創立者生誕150年関係記事を掲載、成瀬記念館に入魂の記念誌を紹介していただいた。巻頭写真は6～8月の玄関ホール展示より。

平成20年度図書館だより編集委員：大沼真美、中澤恵子、鈴木学、中曽根緑

（中曽根）